




Welcome, Future Leaders!

広島市立大学 
国際学生寮「さくら」
学生役職者 募集説明会

国際学生寮「さくら」について

<人材育成コンセプト>

- ・国籍の枠を超えた寮生による**共同生活**
- ・**タフな人材**の育成
 - グローバルな視野
 - 対人関係を構築する力
 - 多様性を受け入れ共感する力
- ・1ユニット6人での共同生活
- ・1フロア4ユニット×4フロア(3～6階)

2

まずは国際学生寮「さくら」について説明いたします。

国際学生寮は、日本人学生と留学生とが共同生活を行うことで、対人関係の構築や多様性を受け入れ共感する力を養い、タフでグローバルな視野を持つ人材を育成する教育的観点を持った学生寮として、2018年4月に開寮しました。

＜国際学生寮の概要＞

名 称：国際学生寮「さくら」

構 造：鉄筋コンクリート造地上6階建

延床面積：2,876.32㎡

定 員：116人（長期滞在者96人、短期滞在者20人）



3

国際学生寮の概要はご覧のとおりです。
長期滞在者と短期滞在者については、後ほど説明します。

<2024年10月の入寮状況>

区分		男性	(定員)	女性	(定数)	合計	(定数)
日本人学生		11	(21)	27	(27)	38	(48)
留学生	中国	5		8		13	
	ドイツ	6		4		10	
	フランス	1		4		5	
	タイ	1		3		4	
	韓国	1		2		3	
	台湾	1		2		3	
	マレーシア	1				1	
	アメリカ			1		1	
	カザフスタン	1				1	
	ナイジェリア			1		1	
小計		17	(21)	25	(27)	42	(48)
合計		28	(42)	52	(54)	80	(96)

4

入寮者数については表のとおりです。

留学生は現在、10か国計42名がこの国際学生寮で生活しており、様々な国の学生が国際学生寮で共に生活を送っています。

<国際学生寮「さくら」の主な諸室>

- 6人で1つのユニットを構成する**長期滞在者用ユニット**
(個室部分)ベッド、机、本棚、エアコンなど
(共用部分)キッチン、トイレ、シャワー、洗濯機、冷蔵庫、エアコンなど
- 短期宿泊が可能な**短期滞在者用ユニット**
- ユニット単位でのミーティングが可能な**交流スペース**
- 180名程度が収容可能な**多目的室**
- 茶道等日本文化の体験交流などに活用可能な**和室**

5

国際学生寮「さくら」の主な諸室を紹介します。

皆さんが実際に居住する長期滞在者用のユニットは個室部分と共用部分に分かれており、個室部分はベッド、机、本棚等が備え付けられています。共用部分はキッチンやトイレ、洗濯機や冷蔵庫など生活に必要なものが備え付けられています。

長期滞在者用ユニットは3階～6階にあるのに対し、2階は短期滞在者用スペースとなっています。協定校大学の学生達が広島市立大学に来た際に滞在する場所などとして使用されています。

他にも各フロアに簡易的に交流ができるスペースとしてコミュニティルーム、イベントや会議、「さくら」でミニ留学のような大学のプログラムに使用する多目的室、卓球ができるスペースや和室もあります。

長期滞在者用ユニット



6

長期滞在者用ユニットを上から見るとこのようになっています。
1つのユニットに個室が6つあり、真ん中に共用部があります。洗面台、シャワールームが1つ、トイレが2つ設置されています。

長期滞在者ユニット(個室)



長期滞在者ユニット(共用)



7

長期滞在者ユニットは写真のとおりです。
共用部の机やソファの位置は、各ユニットで使い勝手が良いように移動して使用しています。

国際学生寮**学生役職者**について

<目的>

- 寮生が、**安心・快適で自律的な寮生活**を送ることができるよう、衛生管理等の生活指導や風紀指導等、さまざまな面でリーダーシップを取りながら、日頃から**寮生をサポートする学生**として学生役職者を設置する。
- 学生役職者の日頃の活動や教育プログラムの実施を通じて、寮生や市大生の憧れとなる**タフで知的なグローバル感覚を持ったリーダー人材**を育成する。

ここからは学生役職者の説明に移ります。国際学生寮「さくら」では、寮生が安心・快適な寮生活を送れるよう、さまざまな場面でリーダーシップを取りながら、日頃から寮生をサポートする学生として、学生役職者を設置しています。

日頃の活動や教育プログラムの実施を通じて、タフで知的なグローバルな感覚を持ったリーダー人材を育成するという目的があります。

<学生役職者をとおして身につく力>

- 日本人と外国人留学生が共同生活するため、**語学力を含む、日常的な国際感覚**
- 異なる国や地域、様々な環境で育った学生と共同生活を行うことで**コンフリクト・マネジメント能力**
- 寮の管理・運営をとおして、国際舞台でも役立つ**リーダーシップ**
- 各種イベント等の企画・運営をとおして、卒業後に役立つ**企画力・実行力**

学生役職者をとおして身につく力は、ご覧のとおりとなります。

先ほど留学生の数を示したように、留学生は例年30人～40人程居住しています。様々な国の学生が集うため、文化や生活の様式がそれぞれ異なります。そのようなさくら寮において学生役職者を務めることで、日本での1人暮らしや家族と生活するだけでは養うことができない国際感覚が身につきます。また、文化や生活様式が異なれば当然問題が発生してきますが、その中でコミュニケーションをとりながら合意形成を得る能力、コンフリクトマネジメント能力を養うことができます。

自らが寮の管理や運営、イベント企画等を行うことでリーダーシップや企画力・実行力も身につきます。

<学生役職者の種類>

ユニットリーダー: ユニットを取りまとめる

フロアリーダー: フロアを取りまとめる

レジデントリーダー: 寮全体を取りまとめる

※ ユニットリーダーは原則16名

※ ユニットリーダーの中から、レジデントリーダー3名、フロアリーダー4名を選出

※ レジデントリーダー及びフロアリーダーは、ユニットリーダーを兼務

学生役職者には3つ種類があります。

まずは、ユニットリーダーです。ユニットリーダーはその名のとおり、6人1ユニットのリーダーです。学生役職者は全員がユニットリーダーとなるため、16人のユニットリーダーがさくら寮にいます。

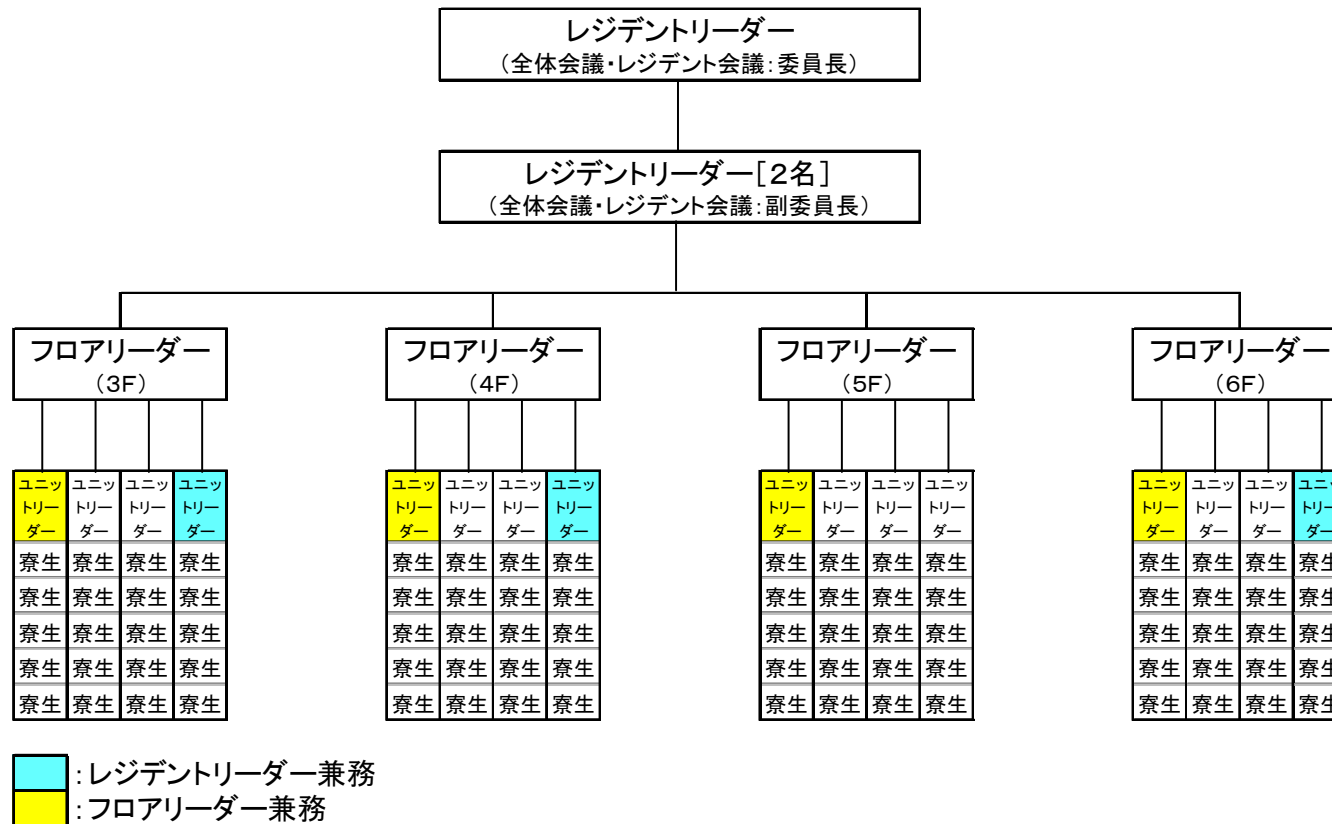
次は、フロアリーダーです。フロアリーダーは各階をとりまとめるリーダーです。フロアで毎週行うフロア会議の中心になるなどの仕事があります。各階1人のため、4人のフロアリーダーがさくら寮にいます。

最後にレジデントリーダーです。レジデントリーダーは、寮全体を統括する役割です。委員長が1人、副委員長が2人の計3人がこの役職に就きます。

レジデントリーダーとフロアリーダーは自分のユニットのユニットリーダーと兼務することになります。

フロアリーダーとレジデントリーダーについては、役職者研修の際に決定します。

<寮内組織図(イメージ)>



図は寮内の組織図です。

一番上にレジデントリーダーの委員長、その下にレジデントリーダーの副委員長がいます。更にその下に、各階をとりまとめるフロアリーダー、自ユニットをとりまとめるユニットリーダーがいます。

<奨励金>

学生役職者の活動を奨励することを目的として、**奨励金**を給付

○レジデントリーダー：**2万円**

○フロアリーダー：**1.5万円**

○ユニットリーダー：**1万円**

<使用料>

月額**2万円**
(インターネット使用料含む)

※光熱水費、共益費は別途実費を徴収します。

学生役職者には、活動を奨励することを目的とした奨励金を役職に従って給付しています。
なお、奨励金は3か月ごとに振り込まれ、7月、10月、1月、翌4月の月末に振り込まれます。
国際学生寮の使用料は月額2万円で、光熱水費等は別途請求します。

＜基本的な任務＞

- ・ 寮生の模範生として生活する。
- ・ 全ての寮生に公平に接する。
- ・ リーダーシップを発揮し、チームワークを醸成する。
- ・ 寮内で快適に生活・学習できる環境づくりを行う。
- ・ 異なる文化を理解し尊重することができる環境づくりを行う。
- ・ 寮内交流イベント等の企画・運営を通じ、寮生間で理解を深め、異文化交流を図る。
- ・ 寮外交流イベント等の企画・運営を通じ、寮外生や地域住民、小中学校等との交流を図る。
- ・ 他者やプライバシーを気遣い、尊重しながら、協力して生活するよう寮生を指導する。
- ・ 生活規則を遵守するよう寮生を指導するほか、生活規則に違反している寮生に対し注意・指導する。

・安心・快適な寮生活の実現
・寮生のサポート
・交流プログラムの企画運営

学生役職者の基本的な任務はご覧のとおりです。

簡潔に言うと、右上の3つ「安心・快適な寮生活の実現」「寮生のサポート」「交流プログラムの企画運営」を学生役職者が担います。

学生役職者は部屋でのルール、寮全体のルールを中心となって決めて共有し、実行・指導していく立場です。

共同生活をする上で、意見が合わないことがでてくるのは当然ですが、それを解決し、皆が安心・快適な寮生活を送れるよう任務を全うしていくことで自らの力を伸ばしてほしいと考えています。

< 役職者別分担表 >

業務内容	学生役職者			
	ユニット リーダー	フロア リーダー	レジデントリー ダー	
寮内での各種課題・問題点、会議開催結果等を関係者へ報告する。	-	○	◎	
寮生活について必要な事項を取りまとめ、大学へ要望・交渉する。	-	-	◎	
ユニット単位で共益費を徴収・管理し、ユニット内の共用消耗品を購入すること	◎	-	-	
騒音・喫煙・いじめ等の各種問題に対し、注意・指導する。	◎	-	-	
対人・学業・健康関係など様々な寮生の悩みの解決にあたる。	◎	-	-	
寮内の衛生・美化に努め、寮生に指導・協力する。	◎	○	-	
各種交流イベントを企画・運営する。	○	◎	◎	
大学教職員と連携し、新入生受入れ準備とオリエンテーションの支援を行う。	△	○	◎	
寮生の入退寮時サポートを行う。	◎	-	-	
短期滞在用ユニット利用者のサポートを行う。	△	○	◎	
オープンキャンパス時の寮見学や他大学等からの視察時に寮内の案内を行う。	△	○	◎	
寮管理人と連携し、緊急時の初期対応を行う。	◎	-	-	
寮生との個人面談を定期的に行う。	◎	-	-	
寮内会議を定期的に行う。	全体会議	○	○	◎
	レジデント会議	-	○	◎
	フロア会議	○	◎	○
必要に応じて寮内会議を行う。	-	-	◎	
その他関係者と連携し、必要な業務を行う。	◎	◎	◎	

◎：主担当、○：副担当

※関係者：学生担当副理事や国際交流担当副理事、学生支援グループ職員、国際交流推進センター職員、寮管理人、他の学生役職者

具体的なレジデントリーダー、フロアリーダー、ユニットリーダーごとの分担については表のとおりです。

＜学生役職者研修プログラム＞

1月から3月にかけて月1回程度行います。

1月の研修プログラムは1月21日(火)18:30～20:00に行います。

2月、3月の研修プログラムは選考結果通知の際にお知らせします。

内容(予定):

- * 自己紹介、国際学生寮のルール説明
 - * 大学が求める学生役職者像などについて説明
 - * グループワーク
 - * 心肺蘇生法・AED講習
 - * 新入生を迎えるための準備・部屋作り、部屋割り、
新入生向け配布物作成
- ※ 内容は変更の可能性があります。

学生役職者任用者は、1月からの研修プログラムを受けてもらいます。研修プログラムは1月から3月にかけて月1回程度行います。

役職者に任用された場合は必ず参加してください。

1月の研修プログラムは1月21日(火)18:30～20:00に行います。2月、3月の研修プログラムは選考結果通知の際にお知らせします。

プログラムの内容は国際学生寮のルール確認、グループワーク、AED講習などを行い、学生役職者として1年間活動するための前段階をサポートしていく研修となっています。

<応募資格>

募集要項参照

<応募方法・選考方法等>

- (1) 募集期間: **2024年10月28日(月)~2024年11月11日(月)**
- (2) 提出書類: 国際学生寮学生役職者応募申請書
- (3) 提出先: 事務局学生支援室が定めるフォーム(大学HP及び募集チラシからアクセスできます。)
- (4) 問い合わせ先: 学生支援室学生支援グループ

提出書類により一次選考を行い、
二次選考として面談を行います。

面談は11月下旬、12月上旬に行う予定です。
(講義などを考慮して調整します)

面談時にPR
できるものを
持参しても可

1年間、様々な経験を積んでみませんか?

16

2025年度学生役職者募集については、「2025年度広島市立大学国際学生寮学生役職者募集要項」をご覧ください。募集期間は、2024年10月28日(月)から11月11日(月)までです。応募申請書は大学HPに掲載しているため、申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、提出してください。「新規入居者用」「現入居者用」「現役職者用」の3種類があるため、注意してください。

問合せ先は学生支援室となります。不明点等ございましたら、メールでご連絡ください。

応募申請書で書類審査による一次選考を実施した後、10~15分程度の面談を二次選考として実施します。面談は講義の時間などを考慮しながら11月下旬頃又は12月上旬に実施する予定です。その際、自分をPRできるものの持参は可能です。

大変な仕事ではありますが、役職者としての1年間の経験はきっと皆さんの糧になるはずです。学生役職者として、1年間様々な経験を積んでみませんか?